

令和5年度 学校評価に関するアンケート項目一覧、および結果のまとめ

領域	アンケート項目	結果のまとめ
1 学校経営	単位制の良さを活かし、特色ある学校経営を行っている。	単位制の夜間定時制としての特色と役割をホームページをはじめ、様々な場面で積極的に発信し、教育活動の振り返りを常に実施しながら、スクールポリシーへの理解と協力を得ることで教育目標の達成に取り組む。
	教育方針や教育目標に基づき、効果的な教育活動を展開している。	
2 学習指導	基礎・基本の定着を目標に授業に取り組んでいる。	授業実践交流会などの実施により、肯定的な結果が得られている。別途実施した生徒授業アンケート結果を含めて、基礎・基本を大切にした授業や、日常生活に結びつく学習内容、ICT機器の積極的な利用など生徒の興味関心をさらに引き出せるような工夫ある授業の構築を継続する。
	授業内容を工夫し、生徒をひきつける、わかりやすい授業の展開に努めている。	
3 生徒指導	生徒や保護者の悩みや相談に親身に対応している。	概ね肯定的な結果となっているが、生徒アンケートでは評価が低かった。別途実施している「学校生活アンケート」結果等を活用して、いじめの未然防止と早期発見に努めていく。生徒の情報交換会を活用し、校外の関連機関や地域とも積極的に連携し、社会全体で生徒を育成する姿勢で臨む。
	いじめの未然防止と早期発見に努め、適切な指導を行っている。	
4 進路指導	生徒一人ひとりの進路実現に努めている。	肯定的な結果がでている。望ましい職業観・勤労観を育成するため、外部講師を活用して進路ガイダンスを実施するなど、今後も働くことの意義・目的を生徒各自が主体的に考えながら積み上げて学習し、就労意欲の喚起につながるようなキャリア教育を実践していく。
	望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	
5 特別活動等	豊かな人間性の育成を目指した特別活動に取り組んでいる。	コロナ感染症の5類移行後、自粛していた学校行事を復活させて、仲間づくり、自治能力、社会性の涵養を目指して指導をしてきた。今後も社会性が身につく、豊かな人間性を育むように、特別活動の指導内容と指導方法の検討を行っている。
	社会性を身につける教育活動に取り組んでいる。	
6 学校図書館	学校図書館が利用しやすいように工夫している。	昨年度に引き続き、肯定的な評価である。生徒にとって利用しやすく居心地の良い図書館をめざして整備をいっそう進めていくとともに、今後は、授業での活用をより積極的に行うことで、生徒が主体的に図書館を利用する足がかりとしたい。
	新着情報の案内など、読書に親しむ指導に努めている。	
7 保健・安全指導	心身の健全な発達を正しく理解させると共に、自己の体力・能力を伸長する指導に努めている。	感染症対策については、日々継続して取り組み、成果をあげた。今後は、生徒自身で健康管理の意識が高まるような指導をめざす。心身の健全な発達のために、今後もスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携が必要である。
	生徒の事故・怪我・病気等への対応を適切に行っている。	
8 人権教育	すべての人の人権を尊重する観点で教育活動を行っている。	人権統一LHRや人権映画鑑賞では、テーマを設定して生徒の心に訴える学習を目指し、生徒の人権意識が高まるように指導をしてきた。その結果肯定的な評価が得られている。今後もさらに生徒の生き方に響くような教育活動を継続していく。
	LHRなどを活用し、人権意識を高める指導に努めている。	
9 環境教育	ゴミの分別をはじめとした環境教育に取り組んでいる。	今年も学校行事として琵琶湖岸の一斉清掃に取り組んだが、環境について学習する場面設定がまだ十分ではなく、評価が低い。今後は、環境問題に対して意識が高まるよう、各授業で環境をテーマとした内容を工夫していく。
	教科学習の中に適切に環境学習を取り入れ、環境問題の啓発に努めている。	
10 事務・管理	文書管理を適切に行っている。	セキュリティ対策を第一に、複数でのチェック体制で文書管理を行っている。また、施設や設備の安全点検については、消防署や産業医の助言もと適切に管理し、改善を図っている。
	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	
11 その他 学校の取り組み	生徒一人ひとりの個に応じた対応・指導に取り組んでいる。	一人ひとりの生徒理解と全教員が共通した指導を丁寧に粘り強く指導することにより、不登校生徒の改善率は高い。増加傾向にある外国にルーツを持つ生徒に対する指導について今後、より充実したものにしていく。
	全教職員が積極的に生徒を把握し、学校全体で指導に取り組んでいる。	